

# 児童会館へ遊びに行こう！

東区には、児童会館が13館と、ミニ児童会館が3館あります。「小学生だけの遊び場」といったイメージが強いかもしれませんが、子育てを支援する場として、また、地域と子どもをつなぐ場として、乳幼児から大人まで幅広く利用されています。今月は、児童会館の活動の様子について紹介します。



「児童会館」は  
どんなところ？

児童会館は、地域の子どもたちの交流を深めることを目的とした施設です。保護者同伴の乳幼児から高校生まで、スポーツやゲームなどで自由に遊ぶことができます。

同時に、年齢や学校が異なる子ども



「ハッピースマイル・イン・新生」の様子。各会館では、工夫を凝らした楽しい行事で盛りだくさんです（新生児童会館 4/22）



地域の皆さんがハンドベル演奏を披露（新生児童会館 4/22）

もたちが一緒になって遊んだり、地域の皆さんと触れ合ったり、館内のルールを子どもたちで決めたりするなど、子どもたちの自主性や社会性、創造性をはぐくむ要素も盛り込まれています。

新生児童会館では、地域の皆さんが中心となって、子どもたちと一緒に腹話術や手品、ゲームなどを楽しむ「ハッピースマイル・イン・新生」を開催。子どもたちの大きな歓声飛び交っていました。

所在地本誌東区版6ページ「児童会館だより」をご覧ください。

開館日時月～土曜日。午前8時45分～午後6時。

休館日日曜日・祝日・振替休日・年末年始（12月29日～翌年1月3日）。



学校で遊ぼう！  
「ミニ児童会館」

児童会館を利用しにくい地域に、小学校の余裕教室を活用して設置された「ミニ児童会館」。学校の中にあることも手伝って、多くの子どもたちでにぎわっています。

中沼小ミニ児童会館は、昨年10月にオープンしました。住宅街と学校が離れていることもあって、終業のチャイムの直後から、ランドセルを背負ったままの子どもたちが、次々



活気にあふれた中沼小ミニ児童会館のプレイルーム（4/25）



低学年も高学年も同じ輪の中で遊びます（中沼小ミニ児童会館 4/25）

に集合。体育館でバスケットボールなどの球技で汗を流したり、プレイルームでゲームや読書を楽しんだりして、思い思いに帰宅までの時間を過ごします。

低学年の子も高学年の子も、一緒になって仲良く遊びます。

専門指導員の村木竹志むらき たけしさんは「子どもたちは年下の子どもの面倒見がよいし、素直でいい子はかりです」と、目を細めながら話していました。

## 所在地

① 札苗小ミニ児童会館（東苗穂7-2） ☎(781)2818

② 苗穂小ミニ児童会館（北9東13） ☎(731)5977

③ 中沼小ミニ児童会館（中沼町73） ☎(790)4733

開館日時授業のある月～金曜日は下校後～午後6時。土曜日は午前8時

